【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公表番号】特表2006-511585(P2006-511585A)
【公表日】平成18年4月6日(2006.4.6)
【年通号数】公開・登録公報2006-014
【出願番号】特願2004-563981(P2004-563981)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　33/14　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/08　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/24　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/30　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/04　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/12　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　33/14
Ａ６１Ｋ　 9/08
Ａ６１Ｋ　33/24
Ａ６１Ｋ　33/30
Ａ６１Ｋ　47/04
Ａ６１Ｋ　47/12
Ａ６１Ｐ　17/02
Ａ６１Ｐ　43/00　　１０５
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１１

【手続補正書】
【提出日】平成18年12月19日(2006.12.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
カリウムイオン、亜鉛イオン、カルシウムイオン、およびルビジウムイオンからなる群から選択される金属イオンの医薬的に有効な実質的に中性のｐＨの水溶液を含む創傷治癒を増強するための治療剤であって、該創傷に関連する活性酸素種の中和に効果を発揮するのに充分な時間その創傷に適用し、該創傷に関連する該活性酸素種に対する該溶液の中和作用によって該創傷治癒が高められる治療剤。
【請求項２】
該溶液のｐＨをクエン酸で調整する工程を含む、請求項１の治療剤。
【請求項３】
該溶液のｐＨが約５～約７である、請求項２の治療剤。
【請求項４】
該溶液が約３３／ｍＬのスーパーオキシドを除去するＩＣ５０値を示す、請求項１の治療剤。
【請求項５】

カリウムイオン、亜鉛イオン、カルシウムイオンおよびルビジウムイオンからなる群から選択される金属イオンの医薬的に有効な約５～約７のｐＨの水溶液を含む創傷治癒を増強するための治療剤であって、該創傷に適用し、それにより該溶液が、刺激された多形核好中球による該創傷に関連する活性酸素種の生成を阻害するか、スーパーオキシドアニオンの除去をするか、多形核好中球の誘引または刺激因子を阻害するか、またはこれらの作用の組合せを実施し、創傷を治癒する治療剤。

【請求項６】

該溶液のｐＨをクエン酸を用いて約５に調整する、請求項５の治療剤。

【請求項７】

該溶液のｐＨを塩酸を用いて約７に調整する、請求項５の治療剤。

【請求項８】

該溶液が、カリウムイオン１０～２０重量部、亜鉛イオン０．００００１～２０重量部、およびルビジウムイオン約４０重量部までを含む、請求項１の治療剤。

【請求項９】

該溶液が、ｐＨを約５～７に調整するために充分な量のクエン酸を含む、請求項８の治療剤。

【請求項１０】

カルシウムイオン０．０１～１０重量部を含む、請求項８の治療剤。

【請求項１１】

該溶液が、ｐＨを約５～７に調整するために充分な量のクエン酸を含む、請求項１０の治療剤。

【請求項１２】

該溶液が、カリウムイオン１０～２０重量部、亜鉛イオン０．００００１～２０重量部、およびルビジウムイオン約４０重量部まで含む、請求項５の治療剤。

【請求項１３】

該溶液が、ｐＨを約５～約７に調整するのに充分な量のクエン酸を含む、請求項１２の治療剤。

【請求項１４】

カルシウムイオン０．０１～１０重量部含む、請求項５の治療剤。

【請求項１５】

該溶液が、ｐＨを約５～約７に調整するのに充分な量のクエン酸を含む、請求項５の治療剤。